

電気設備工事仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

島根県雲南市三刀屋町

2. 棟別概要

番号	建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法の区分	備考
1	店舗 (SHOP1)	W造	1			
2	店舗 (SHOP2-1, 2・2-3・3)	W造	1			
3	店舗 (SHOP4・5)	W造	1			
4						
5						

(注) 消防法の区分は消防法施行令別表第一の該当符号を示す。

3. 工事種目

(○印を付したものが該当)

建物別	建物番号				
工事種目	12345				
受変電設備	○				
電力貯蔵設備					
発電設備					
電灯コンセント設備	○				
動力設備	○				
構内情報通信網設備	○				
構内交換設備	○				
情報表示装置					
映像・音響設備					
拡声設備					
誘導支援装置					
テレビ共同受信設備					
テレビ電波障害調査					
防災設備	○				
防犯設備					
雷保護設備					
屋外設備	○				

II 工事仕様

1. 共通事項

(1) 図面及び特記事項に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）平成28年版」（以下「標準仕様書」という）及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）平成28年版」（以下「標準図」という）による。  
ただし、改修工事に関しては「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）平成28年版」（以下「改修標準仕様書」という）による。  
(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。  
  
2. 特記事項  
(1) 章及び項目は番号に○印の付いたものを適用する。  
(2) 特記事項は◎を適用する。  
(3) ◎印の無い場合は、\*印のあるものを適用する。  
◎印と◎印のある場合はともに適用する。

章項目

①適用基準等

一般事項

②機材の品質等

③官公署その他への届出手続等

④契約種別等

5電気保安技術者

6電気工事士

⑦工事用電力、水その他

8発生材の処理

9交通安全管理

⑩工事写真

特記事項

・消防用設備等の技術基準（第8次改訂版）（全国消防長会中国支部編）  
◎公共施設用照明器具（2015年版）（一般社団法人日本照明工業会）  
⑤工事写真の撮り方（改訂第3版）建築設備編 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修  
  
本工事に使用する機材は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JISマーク表示のない機材及びその製造者等は、次の1）～5）の事項を満たすものとする。  
ただし、使用量の少ないもの、簡易な機材又は品質を証明する資料の入手困難なもの等については、次の1）～5）を考慮の上、監督職員の承諾を受けて証明資料の提出を省略することができる。  
1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。  
2）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。  
3）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。  
4）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。  
5）安定的な供給及び保守等の営業体制が整えられていること。  
  
なお、商品名が記載された機材については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。  
また、これらの機材を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。  
ただし、一般社団法人公共建築協会編集・発行の「建築材料・設備等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿（平成28年版）」及び「同設備機材等評価名簿（平成28年版）」に記載されたものについては、所定の品質及び性能を有しているものとする。  
  
官公署等への届出手続き、申請等に要する費用はすべて受注者の負担とする。  
  
・業務用電力 変圧器容量 電灯 KVA  
動力 KVA  
計 KVA  
  
・低圧電力  
・従量電灯A ◎ 従量電灯B ・ 定額電灯  
  
工事現場における電気保安技術者は、監督職員の指示に従い、電気工作物の保安の業務を行うものとする。なお、事業用電気工作物に係る工事においては、電気主任技術者（電気事業法による有資格者）をおくものとする。  
  
最大電力500kW以上の場合においても、第一種電気工事士により施工を行う。  
  
本工事に必要な工事用電力、水などの費用は受注者の負担とする。  
  
・引き渡しを要するもの  
（ ）  
・現場において再利用を図るもの  
（ ）  
産業廃棄物の処理及び再資源化を図るものは下記による。

項目	品目	搬出場所	距離 (km)	処分費 (有・無)	備考
特定建設資材	・コンクリート塊				
	・アスファルト塊				
	・木材				
特別管理産業廃棄物	・PCB使用機器				
その他					

  
・撤去品の微量PCB分析を行う。（ ）  
配置する位置は別に図示する。

名称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等
交通誘導員A		
交通誘導員B		
交通整理員		

  
(注) 交通誘導員A、Bは警備業法に定める警備員とし、交通整理員については資格を問わない。  
  
下記のものを提出する。  
仕様は、島根県建築工事写真取扱要領による。

区分	種類	サイズ (mm)	提出部数
工事中 (着工前含む)	*カラー	* 80×120 程度	1部
完成	*カラー	* 80×120 程度	2部
	フィルムカメラを使用した場合は、完成写真のネガフィルムをカラーベタ焼き又はインデックスプリントとともに提出する。 デジタルカメラを使用した場合は、工事写真及び完成写真のデータを記録したCD-R等を提出する。		1部

  
\*写真及びネガフィルムは、市販のJIS A4判の工事用アルバムにて製本し、提出する。

章項目

⑪完成図及びマイクロフィルム

⑫保全に関する資料

⑬提出書類

14耐震措置

15耐震施工

⑯他工事との取合

特記事項

下記のものを、完成後15日以内に提出する。  
仕様は、島根県建築工事完成図取扱要領による。

品名・仕様	提出部数
* 原因（設計原因の訂正でもよい）	1部
* 竣工図 複写 製本サイズ（* A3縮小版 ・ 原図サイズ）白焼 表装（* レザーク表紙（ラミネート仕上） ・ 黒表紙金文字入り） * 施工図(構造躯体図、設備の配管配線図、監督職員が指示する図面) 製本サイズ（* A3縮小版 ・ 原図サイズ）白焼 表装（* レザーク表紙（ラミネート仕上） ・ 黒表紙金文字入り） * 電子データ（画像データ、CADデータ）（CD-R等）	2部 1部 1部
* マイクロフィルム（島根県マイクロフィルム仕様書による）	1部

  
設計に関するCADデータを貸与するが、この著作権者は、雲南市にある。なお、貸与されたデータは、当該工事における施工図又は、完成図の作成のため以外に使用してはならない。  
  

書類名	提出部数
建築物等の利用に関する説明書（電子データ共(CD-R等)） （建築物等の利用に関する説明書作成要領による） 機器取扱い説明書 官公署届出書類 主要機器製造者一覧 その他監督職員が指示するもの	2部

  
  
竣工検査までに下記のものを1部提出する。  
◎ 絶縁抵抗測定結果  
◎ 接地抵抗測定結果  
◎ 機器試験成績表  
・ 端子出力レベル測定結果  
・ LANケーブル伝送品質測定結果  
◎ 一般用照明照度測定結果（各室について3カ所程度）  
測定高さは(事務室 FL+800、廊下等 FL+0)とする  
・ 非常用照明照度測定結果（各室について2カ所程度）  
測定高さは床面とする  
  
設備機器の固定は、「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説（建設大臣官房官庁営繕部監修）平成8年版」による。施工は「建築設備耐震設計・施工指針（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立法人建築研究所監修）2014年版」による。  
建物の種別  
・ 特定の施設  
・ 一般の施設  
重要機器  
・ 配電盤  
・ 自家発電装置  
・ 交換機  
・ 直流電源装置  
・ UPS装置  
・ 火災報知受信機  
・ 中央監視制御装置  
・ 通信総合盤  
設計用水平地震力  
機器の重量(kgf)に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は次による。  
設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設	一般の施設		
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類(オイルタンク)	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類(オイルタンク)	1.5	1.0	1.0	0.6
地階及び1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類(オイルタンク)	1.5	1.0	1.0	0.6

  
注) 上層階の定義は次による。  
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階  
  
設計用鉛直地震力  
設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。  
  
横引き配管等は、地震時の設計用水平震度及び設計用鉛直震度に応じた地震力に耐えるよう標準図によるSA種、A種又はB種耐震支持を行う。ただし、次の場合を除く。  
呼び径が82mm以下の単独配管、幅400mm未満のケーブルラック  
周長800mm以下の金属ダクト、幅400mm以下の集合配管  
吊り材の長さが平均0.2m以下の配管配線等  
  
梁・壁・床貫通部の補強及びスリーブ  
補強 ◎本工事  
スリーブ ◎本工事  
照明器具、幹線等の吊りボルト用インサート  
インサート ◎本工事

章項目

⑰位置ボックス

⑱フラッシュプレート

⑲カバープレート  
の表示

⑳接地極

㉑分電盤・端子盤

22鋼製電線管

㉓PF管

24露出配管の塗装

25ブルボックスの塗装

㉖結露防止

27再使用機器

28予備配管

㉙支持金物等

㉚電線類

31足場

㉛土工事

33はつり工事

34防火区画等の貫通

特記事項

埋込分電盤、端子盤等の仮枠及び埋込部分の補強  
◎本工事  
・ 別途工事  
天井埋込形器具の天井切込加工（下地を含む）及び補強  
◎本工事  
・ 別途工事  
二重床の配線器具取付箇所の切込及び補強  
・ 本工事  
・ 別途工事  
シャッター等の2次側配線配管工事  
・ 本工事  
・ 別途工事  
  
・ 鋼製 ◎ 樹脂製  
鋼製ボックスを使用する場合は、ボックスに接地を施すこと。  
防火隔壁等に埋込む場合は、鋼製とする。  
  
◎ 金属製（適用範囲： ）  
・ 合成樹脂製（適用範囲： ）  
  
用途を表示したシール等を貼付すること。  
  
接地極は下記による。（EBはL=1,500mmとする）

種類	記号	接地抵抗値	接地極
共同接地	EA-D	10Ω以下	EB (D=14又はW=40) *3連-2組
共同接地	EA-C-D	10Ω以下	EB (D=14又はW=40) *2連-2組
A種	EA	10Ω以下	EB (D=14又はW=40) *3連-2組
B種	EB	Ω以下	EB (D=14又はW=40) *2連-2組
C種	EC	10Ω以下	EB (D=14又はW=40) *3連-2組
D種	ED	100Ω以下	EB (D=14又はW=40) *1
高圧送電線	EL-H	10Ω以下	EB (D=14又はW=40) *3連-2組
交換機用	Et	10Ω以下	EB (D=14又はW=40) *3連-1組
通信用	EAt	10Ω以下	EB (D=14又はW=40) *3連-2組
通信用	EDt	100Ω以下	EB (D=14又はW=40) *1
高圧送電線 の接地極	EL-t	100Ω以下	EB (D=14又はW=40) *1
測定用	EO	—	EB (D=10又はW=30) *1

  
(但し、測定用の場合、EBはL=1,500mm)  
  
・ 標準仕様書による ◎ 製造者標準とする  
  
特記なきは、ねじなし電線管とする。  
  
特記なきは一重管とする。  
  
居室、廊下、外壁面で露出となる鋼製電線管（位置ボックスを含む）、支持金物には塗装を施す。  
  
ステンレス製ブルボックスの塗装  
\* 有（メーカ指定色又は指定色仕上） ・ 無（素地仕上）  
  
内側断熱施工される構造体のコンクリートに埋込むボックス等には断熱材等を取り付ける。  
  
取外し再使用する機器は清掃及び絶縁抵抗測定の上取付ける。  
  
壁内に埋込みとなる分電盤、端子盤等には予備配管として、E25×2又はPF22×2を設置する。  
天井スラフの場合  
天井又は梁下20cmまで立上げ、ボックス止めとする  
二重天井の場合  
配管を天井内まで立上げる  
  
屋外及び湿気の高い場所で使用する支持金物はステンレス製とする。ただし、装柱金物は除く  
  
(1) EM電線類で規格等記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。  
(2) 通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。  
  
本工事で設置する。  
・ 内部足場（種）  
・ 外部足場（種）  
  
建設発生土の処分  
◎ 構内指示の場所に敷き均し  
・ 構内指定場所に堆積  
・ 指定処分（・A・B・C・D・E・F）  
（詳細は、現場説明書による。）  
  
既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは原則としてダイヤモンドカッターによる。  
  
配管・配線・ラック等が防火区画等を貫通する場合は、適切な処置を施す。

株式会社 坂本建築設計事務所

SAKAMOTO ARCHITECTS' OFFICE

〒690-0887 松江市殿町97

一級建築士事務所登録

一級建築士登録 242983

TEL (0852) 25-2222

島根 - 1338

坂本 拓三

工事名

図面名

SAKURAマルシェ(仮称)新築工事

特記仕様書1

作成日

縮尺

代表

検図

担当

平成30年3月

N.S

E - 1

章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項			
受 変 電 設 備	③⑤ スリーブ	柱・梁には紙チューブは使用しない。		B 交流無停電電源装置（UPS）	1 形式	・ UPS	・ 簡易形	⑤ 照明制御	① 人感センサー制御	・ 外光（昼光）利用			
	36 負担金	工事負担金は、本工事とする。 ・ 電力負担金 円（内消費税等相当額 円） ・ テレビ共聴 円（内消費税等相当額 円）			2 定格出力	（ ） KVA			・ 連続調光	・ 段階調光			
	37 特定元方事業者の指名	労働安全衛生法第30条第2項に基づく指名 ・ 本工事の受注者を指名する。 ・ 他工事の受注者を指名する。 （ ）			3 停電補償時間	（ ）分（定格出力運転時）			特記なき場合、一般事務室において初期照度は（ ）ルクスに設定を行う。				
	③⑨ 施工図及び施工計画書	提出した施工図及び施工計画書の著作に関わる当該建物における使用権は発注者に委譲するものとする。			4 予備品等	標準仕様書によるほか下記による。 主回路接続図（透明ケース入り）但し、簡易形は除く			⑥ 光源	光源色の特記なき場合は下記による 直管 3波長域発光形昼白色 コンパクト形 3波長域発光形昼白色 3波長域発光形電球色 LED 昼白色 電球色			
	39 事前調査等	大気汚染防止法第18条の17の規定等に基づき、受注者は事前調査を実施し、発注者へ書面による説明及び調査結果の揭示をおこなうこと。			4 発電機	（ ） kVA以上				7 コンセントプレート	・ シール等により商用系、自家発系を明示すること。 ・ OAタップについては回路番号を明示すること。		
④⑩ 施工調査	本工事の施工に先立ち事前調査を行う。		6 原動機	（ ） kW以上 ・ ディーゼル ・ ガスタービン ・ ガスタービン									
41 木製安全施設製品（県産木材製品）	・ 工事用標示板（表示板1,400mm×1,100mm用） 台 ・ 工事用看板（表示板1,400mm×500mm用） 2台 ・ 工事用バリケード 5台		7 連続運転時間	（ ）時間以上									
42 関連他工事			8 運転音	機器、排気管及び排風口より1mの位置での運転音 ・ 105dB (A) ・ 85dB (A) ・ 75dB (A)		動力設備	② 電源を必要とする機器	・ 空調設備	・ 換気設備		・ 給排水設備		
② 受 変 電 設 備	① 電気方式	・ 高圧 三相3線式 6.6KV ① 低圧 三相3線式 200V ② 低圧 単相3線式 200V/100V ・ 低圧 単相2線式 100V		9 保守運転	自動		3 監視	・ 警報盤	・ 中央監視盤（別途工事）に接続	・ 厨房設備			
	2 高圧負荷開閉器	引込柱取付け、閉鎖型、過電流番勢トリップ形、モールドコンプッシング付  ・ 空中 ・ 真空 ・ 耐塩形（ ・ 垂鉛状 ・ ステンレス） ・ 地絡継電器付 ・ 方向性地絡継電器付 ・ VT内蔵 ・ LA内蔵		10 燃料系統	・ 本工事 ・ 別途工事		4 空調電気設備	・ 本工事	・ 別途工事	・ エレベータ設備			
	3 キュービクル	・ 屋内形 ・ 屋外形 ・ 銅板製 ・ ステンレス製（着色）		11 防災電源	建築基準法及び消防法に係る発電装置は、関係法令に適合している旨の試験成績書等を監督員に提出する。		⑤ 機器への接続	・ 本工事	・ ① 別途工事	・ 備品関係設備			
	4 変圧器	・ 油入 ・ モールド モールド変圧器の表面は充電部とみなし注意標識を取り付ける。モールド変圧器はダイヤル温度計を附属させる。		12 予備品等	標準仕様書によるほか下記による。 ABC10形消火器 1本（屋外は箱入りとする）		構内情報通信網設備	⑦ ① 工事範囲	① 配管	・ 配線	② 端子盤等取付		
	5 進相コンデンサ	※ 低圧側 ・ 高圧側 ・ 油入 ・ 乾式（ ・ モールド ・ ガス ・ オイルレス（一体型） ）		B 太陽光発電	1 公称最大出力	（ ） KW以上（日射強度 1KW/m <sup>2</sup> 、25℃、AM1.5）			・ 機器収納ラック等取付	・ 情報通信機器取付			
	6 直列リアクトル	・ 油入 ・ 乾式（ ・ モールド ・ オイルレス（一体型） ）		2 耐風速	建築基準法施行令第87条の規定による風圧力に耐えるものとし、強度計算書を監督職員に提出する。				構内交換設備	⑧ ① 工事範囲	① 配管	・ 配線	② 端子盤取付
	⑦ 引込開閉器盤（低圧の場合）	・ 電柱取付形（防水） ② 屋根取付形（防水） ・ 銅板製 ② ステンレス製（着色）		3 系統連系	・ 行う ・ 行わない 系統連系を行う場合は、「系統連系技術要件ガイドライン」を満足すること。						・ 機器取付	・ 既存交換機改修	・ 端子盤等取付
	8 キュービクル基礎及びボルト	基礎 ・ 本工事 ・ 別途工事 ボルト ・ 本工事 ・ 別途工事		4 パワーコンディショナー	出力 相 線式 V 定格容量 kW 自立運転機能 ・ 有り ・ 無し		2 交換機	・ 新設			・ 既存交換機改修	・ 端子盤等取付	
	9 感熱表示ラベル	導電部の接続端子近辺には不可逆性の感熱表示ラベルを貼付する。（変圧器の2次側端子、低圧盤1次側母線）		5 売電	・ 行う ・ 行わない		3 電話機	・ 本工事			・ 別途工事	・ IP-PBX	
	10 高調波計算書	機器承諾図提出前に高調波流出電流を計算し、監督員に提出する。		⑤ 電 灯 コ ン セ ン ト 設 備	① 電気方式	① 幹線 単相3線式 200/100V ① 分岐 単相2線式（ ② 100V ② 200V ） ・ 分岐 直流2線式 100V		4 取付高さ	壁又は柱に設置する電話用アウトレットの取付高さは、特記なき場合、FL+1,300とする。この場合、電話機は壁掛型とする。				
	11 予備配管	屋外キュービクル式受電設備の場合、予備配管を基礎外部まで設ける。（FEP 80 × 3本）			② 配線器具	スイッチ、コンセントは大角形とする。 2連以上スイッチは、ネーム付とする。 床コンセント ・ アップ式 ・ フロア形 コネクタ容量20A以上、3P以上、防水形は「ラ」をつける。 接地極付コンセント(2P15A(E))及び防雨形コンセントのプラグは不要とする。		⑤ 保安器用接地	⊗ 本工事 ・ 別途工事				
	12 予備品等	標準仕様書によるほか下記による。 ヒューズ類（種別ごとに下記の数量とする） ・ 現用数 ・ 現用数の20%（1個以上） ABC10型消火器（屋外は箱入りとする） 主回路接続図（透明ケース入り）			3 非常用照明器具	・ 電池内蔵型 ・ 電源別置形		⑥ 保安器箱	・ 埋込形 ② 露出形				
3 電力貯蔵設備	A 直流電源装置		4 安定器		特記なきは下記による。 直管形 Hf形 16W ・ PH ・ PX 32W ・ PH ・ PK ・ PX ・ PZ コンパクト形 Hf形 P32 ・ PN ・ PW P45 ・ PN ・ PX Hf形蛍光灯器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧（100～242V）に対応するものとする。		情報表示装置	A マルチサイン設備	・ 発光ダイオード式（ ・ 4色 ・ フルカラー ） ・ 液晶式				
	1 用途					B 出退表示設備		・ 発光ダイオード式（ ・ 2モード ・ 4モード ） ・ 液晶式					
	2 蓄電池					C 時刻表示設備		水晶式（週差0.7秒以下）					
	3 予備品等					1 親時計		・ 壁掛形 ・ 埋込形 ・ 吊下形 ・ スピーカ組込 ・ アナログ式 ・ デジタル式					
						2 子時計	電池はリチウム電池とする。						
						3 電池時計							

章		項		目		特		記		事		項		章		項		目		特		記		事		項	
14 テレビ電波障害調査	1 調査仕様	図面に記載されていない事項は全て（一社）日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ電波障害調査要領」による。																									
	2 調査機関	テレビ電波障害の調査は、（一社）日本CATV技術協会による。																									
	3 調査内容	・ 事前調査      ・ 中間調査      ・ 事後調査																									
15 防災設備	A 火災報知設備等																										
	1 種別	・ 自動火災報知設備      ・ 非常警報設備 ・ 漏電火災警報器      ・ 火災通報装置 ・ 自動閉鎖装置      ・																									
	2 受信機	・ P型1級      ・ P型2級      ・ R形 ・ 単独形      ・ 複合形      （      ）回線																									
	3 副受信機	（      ）窓																									
	4 発信器、ベルランプ	・ 単独設置      ・ 総合盤      ・ 消火栓ボックスに組込																									
	5 消火ポンプ起動	・ 発信器連動      ・ 起動押しボタン方式 ・ 消火栓開閉レバー連動（リミットスイッチ）																									
	6 非常警報装置	・ 複合装置      ・ 一体形      ・ 単独設置																									
	7 予備品等	標準仕様書によるほか下記による 警戒区域図（透明ケースに収納）																									
	B 誘導灯等																										
	1 誘導灯の種別	○ 避難口      ・ 通路      ・ 客席																									
16 防犯設備	2 誘導標識	・ 避難口      ・ 通路 誘導標識は所轄の消防署と協議の上、取付とする。																									
	C ガス漏れ警報設備																										
	1 警報対象	・ LPガス      ・ 都市ガス																									
	2 警報方式	・ 現地警報      ・ 現地警報及び中央警報 ・ 遮断弁連動																									
	3 警報器電源	・ AC100V      ・ DC 24V																									
	4 受信機	・ 単独      ・ 火報受信機など一体																									
	5 ガス遮断弁	・ 本工事      ・ 別途工事																									
	6 予備品等	標準仕様書によるほか下記による 警戒区域図（透明ケースに収納）																									
	17 雷保護設備	1 工事範囲	・ 配管      ・ 配線      ・ 機器取付																								
		2 警戒方式	・ 監視カメラ      ・ センサー ・ 別途機械警備																								
3 監視カメラ		・ カラー      ・ 白黒 ・ 旋回装置      ・ モニタ装置      ・ 録画装置 伝送方式      ・ アナログ      ・ ネットワーク																									
18 屋内設備	A 構内線路																										
	1 施工方式	○ 地中配線      ・ 架空配線																									
	2 標識シート	・ 高圧      ○ 低圧      ・ 弱電 標識シートは2倍長以上重ね合わせとする。																									
	3 埋設標	標準図（電力75）により設置する。																									
	4 ハンドホール	ブロックハンドホールとする。																									
19 その他	5 地中埋設深さ	○ GL-600mm（      ） ・ GL-300mm（      ） 舗装のある場合は、路盤下より上記の深さとする。 埋設深さは、地表面又は路盤下より配管上端までとする。																									
	6 支線	支線のある場合は支線ガードを設置する。																									
	7 埋戻し土	地中配管の上下50mmを砂又は良質土にて保護を行う。 良質土は、根切り土中の良質土を使用する。																									
	B 屋外機器																										
	1 機器	・ 蛍光灯      ○ LED灯      ○ 分電盤      ・ 端子盤 ・ コンセント      ・ スピーカ      ・ 時計      ・																									
20 表	2 外灯区分閉閉器	配線用遮断器（トリップ 機構無し）をボ-ル内部に設置する。																									
	3 ボール基礎	・ 設計図による      ・ 標準図による ・ 埋込式      ・ ベースプレート式																									
	機 器 取 付 高	機器の取付高は、下表を標準とする。ただし、監督員の指示により変更することができる。																									
	電 力	名	称	測 点	取 付 高 (mm)																						
	電 灯	取引用計器	地 上～窓中心		1,800～2,000																						
		引込開閉器盤	床 上～中 心		1,800～2,200																						
		分電盤	"		（上端1,900以下） 1,500																						
		スイッチ	"		1,300																						
		スイッチ（宿舍）	"		1,100																						
		コンセント（一般）	"		300																						
"（和室）		"		150																							
"（宿舍居室内）		"		150																							
"（台上）		台 上～中 心		150																							
"（土間）		床 上～中 心		800～1,300																							
灯	ブラケット（一般）	"		2,100～2,300																							
	"（踊場）	"		2,000～2,500																							
	"（鏡上）	鏡上端～中 心		150																							
	多機能トイレスイッチ	床 上～中 心		900																							
動 力	壁掛形制御盤	"		（上端1,900以下） 1,500																							
	手元開閉器	"		1,500																							
構 内 交 換	操作スイッチ	"		1,300																							
	端子盤	床 上～下 端		300																							
	保安器箱（一般）	天井下～上 端		200																							
	壁付位置ボックス（和室）	床 上～中 心		150																							
誘 導 支 援	"（壁掛）	"		1,300																							
	壁掛形親時計	"		（上端1,900以下） 1,500																							
	子時計	天井下～上 端		200																							
	壁掛形スピーカ	"		200																							
	壁付アッテネータ	床 上～中 心		1,300																							
	壁付位置ボックス（一般）	"		1,300																							
	"（和室）	"		150																							
	壁付インターホン（一般）	"		1,300																							
	"（身障者用）	"		1,000																							
	押しボタン（多機能トイレ）	"		900（300）																							
表 示	壁付発信器	"		1,300																							
テレビ 共 同 受 信	機器収納箱	天井下～上 端		200																							
火 災 報 知	直列ユニット（一般）	床 上～中 心		300																							
	直列ユニット（和室）	"		150																							
	受信機、副受信機	床 上～中 心		1,500																							
	総合盤	"		1,200～1,500																							
	発信器	"		800～1,500																							
ガ ス 検 知	ベル	"		2,300																							
	表示灯	"		2,100																							
	検知器（都市ガス）	天井下～下 端		300																							
ガ ス 検 知	検知器（LPガス）	床 上～上 端		300																							
	ガス漏れ中継器	天井下～中 心		300																							
注）誘導支援設備の押しボタン（多機能トイレ）の取付高さ（300）は床に転倒した時を考慮した高さ																											

工事 名	SAKURAマルシェ(仮称)新築工事			作成 日	平成30年3月			A・C・E・P・M			
	特記仕様書3				縮 尺	N.S		代 表	換 図	担 当	E - 3

株式会社

坂本建築設計事務所

SAKAMOTO ARCHITECTS' OFFICE

〒690-0887 松江市殿町97

一級建築士事務所登録

一級建築士登録 242983

TEL(0852) 25-2222

島 根 - 1338

坂 本 拓 三

工事  
名

図面  
名

SAKURAマルシェ(仮称)新築工事

特記仕様書3

縮尺

N.S

作成日

平成30年3月

代表

換図

担当

A・C・E・P・M

E - 3